

# たぎし 七尾市田岸遺跡 現地説明会資料

令和元年 12月8日(日)

(公財)石川県埋蔵文化財センター

- ◎ 調査地 七尾市中島町田岸地内
- ◎ 調査原因 国道改築(防災・安全)事業(一般国道249号)
- ◎ 調査主体 石川県教育委員会(調査担当:公益財団法人石川県埋蔵文化財センター)
- ◎ 調査期間 令和元年8月上旬~令和元年12月下旬(予定)
- ◎ 調査面積 2,340 m<sup>2</sup>(予定)



## 周辺の遺跡

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| ①田岸遺跡(縄文)            | ⑮深浦ヤチノカワ遺跡(古墳)      |
| ②外クロザカ遺跡(古墳)         | ⑯深浦ミミウラ遺跡(縄文、古墳、古代) |
| ③外縄文遺跡(縄文)           | ⑰長浦ヨノ木鼻遺跡(中世)       |
| ④外古寺院跡(中世)           | ⑱長浦製塩B遺跡(古代)        |
| ⑤外遺跡(縄文、弥生、古墳、古代、中世) | ⑲長浦製塩A遺跡(その他)       |
| ⑥外製塩遺跡(古墳、古代)        | ⑳長浦茂崎古墳群(古墳)        |
| ⑦小牧A遺跡(縄文)           | ㉑長浦茂崎遺跡(中世)         |
| ⑧小牧朱田遺跡(縄文)          | ㉒長浦縄文B遺跡(縄文)        |
| ⑨小牧大杉谷内遺跡(縄文)        | ㉓通鼻遺跡(縄文)           |
| ⑩小杉観音山遺跡(縄文)         | ㉔通鼻海岸遺跡(古墳、古代)      |
| ⑪小牧の砦跡(中世)           | ㉕猿島遺跡(縄文)           |
| ⑫小牧タドラ遺跡(縄文、古墳、中世)   |                     |
| ⑬深浦A遺跡(縄文)           |                     |
| ⑭深浦ジケダ遺跡(古墳、中世)      |                     |

県内の遺跡情報は石川県埋蔵文化財センターのホームページでもご覧になれます

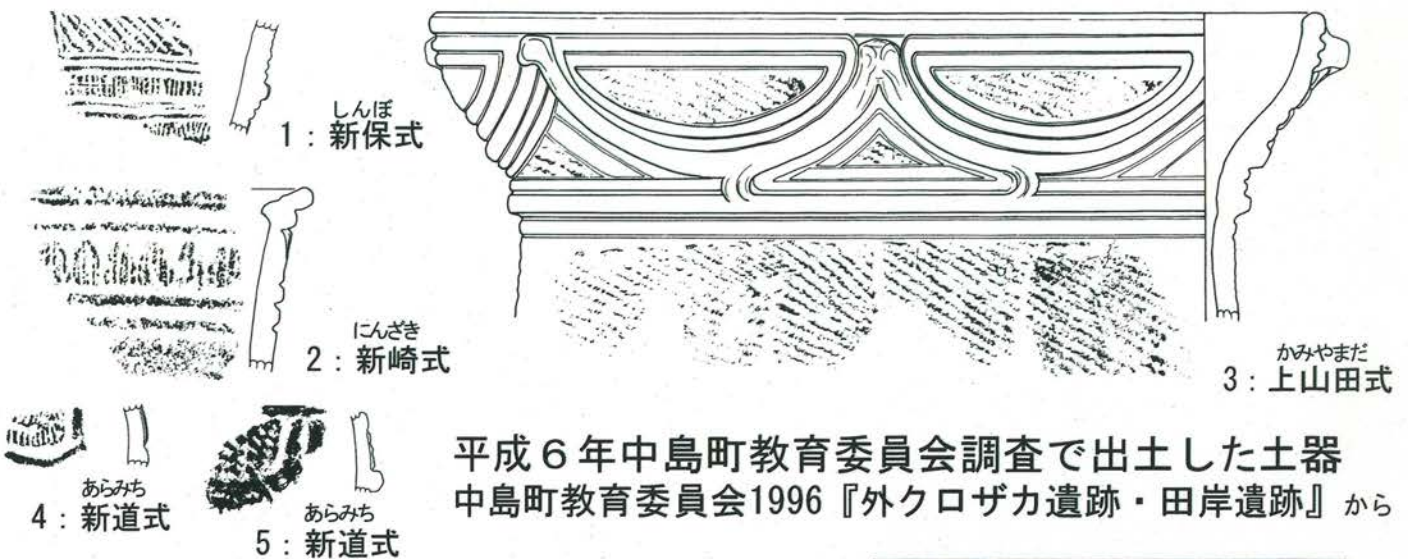


◎田岸遺跡について

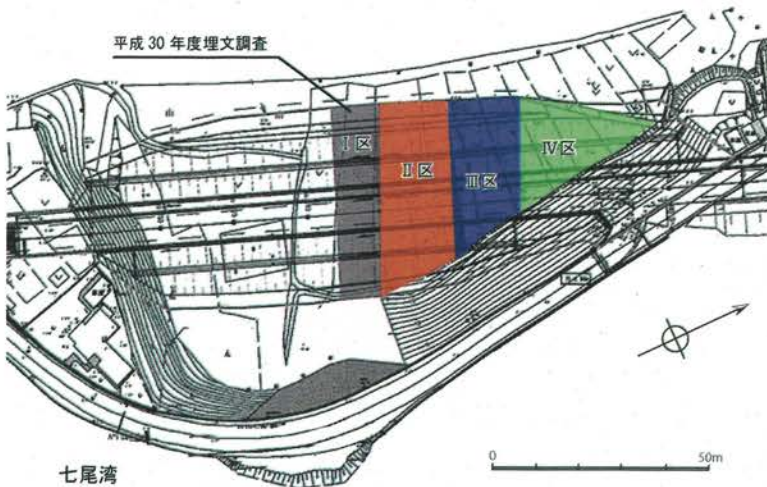
田岸遺跡は、のと鉄道西岸駅から北へ約1.5kmの七尾湾を望む海岸段丘上にあります。段丘は舌状に張り出しており、海側に向かって緩やかに傾斜（標高16～19m）しています。

過去の調査では、昭和39年に中島町史編さんのために発掘調査がおこなわれました。この時は土坑や小穴<sup>どこう</sup>が発見され、縄文時代中期前葉～中葉の土器・石器が出土しました。また、平成6年には中島町教育委員会の調査が実施され、土坑、小穴<sup>どこう</sup>が見つかり、中部～関東地方に分布する新道式<sup>あらみち</sup>土器も出土しました。

今回の発掘調査は、石川県中能登土木総合事務所が所管する国道改築（防災・安全）事業（一般国道249号）に伴うもので、本年度で2年目の調査となります。昨年<sup>どこう</sup>の調査では、土坑や小穴と共に、縄文時代中期中葉の土器・石器が見つかりました。



平成6年中島町教育委員会調査で出土した土器  
中島町教育委員会1996『外クロザカ遺跡・田岸遺跡』から



田岸遺跡調査区区割り図

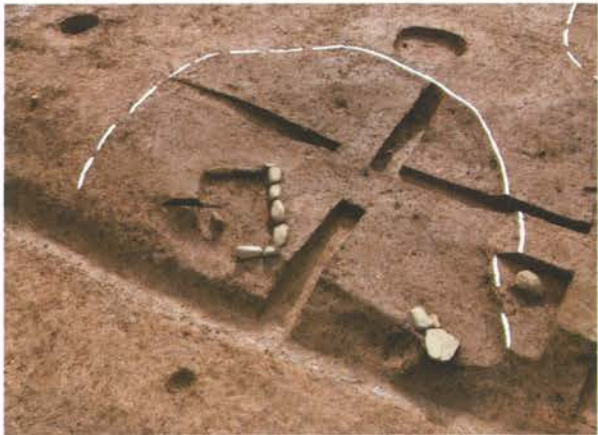


SI03から出土した縄文土器





環状柱列



SI04 (南東から)



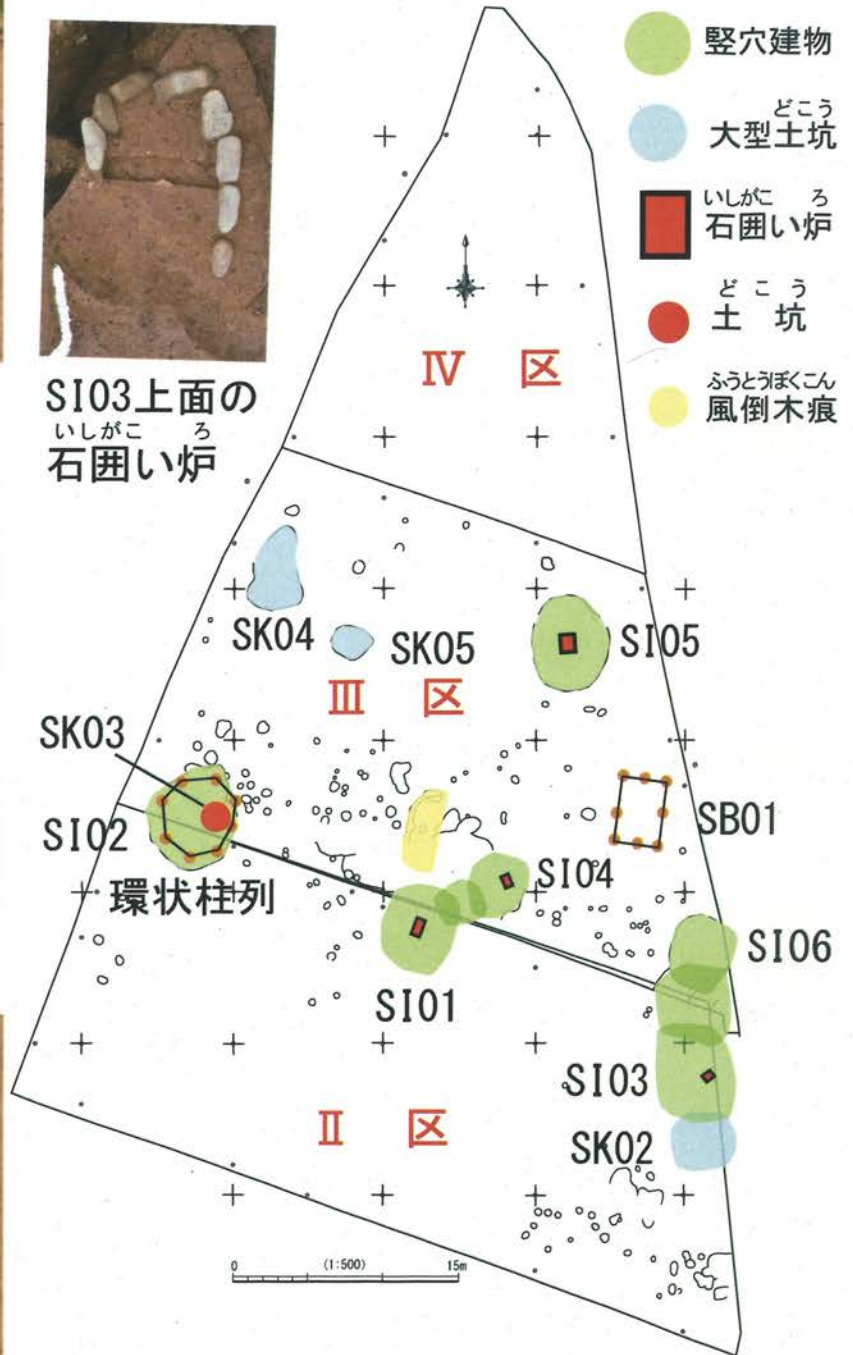
SI01 (南西から)



SI01の石囲い炉 (西から)



SI03上面の  
いしがこ  
ろ  
石囲い炉



田岸遺跡の主要遺構模式図



SK03の土器出土状況 (北から)



◎調査の概要

今年度の調査では、縄文時代の竪穴建物や土坑、柱列、小穴、風倒木痕が見つかりました。竪穴建物はⅡ区からⅢ区を中心に、6棟以上を確認しました。

竪穴建物のほとんどには石囲い炉が伴っており、煮炊きや暖房のために使用されたと考えられます。SIO1の石囲い炉では被熱によって一面に焼けた土が残っていました。また、SIO3は、検出面から床面まで約90cmと深く掘り下げている様子が確認されました。これほど残りが良好な竪穴建物は稀で、貴重な資料となりました。

これらの竪穴建物群は、山側から海側にかけて弧状に配置されており、石川県内でも数少ない事例となりました。

出土遺物には縄文時代中期中葉（約4,500年前）の縄文土器（上山田式）が大量に出土し、磨製石斧や石鏃などの石器も出土しました。石鏃などは、志賀町産の安山岩や珠洲市横山町・志賀町火打谷産の玉髄質泥岩で作られたものが多く出土します。

また、糸魚川周辺で作られた蛇紋岩製磨製石斧や、信州からもたらされた黒曜石で作られた石鏃も出土し、当時の地域間の交流が広範囲であったことがわかりました。

西暦	時代	日本の動き	石川県の動き	近辺の主な遺跡	田岸遺跡の動き
10000頃	旧石器	土器の出現 貝塚の形成	丘陵上で石器を使った生活が始まる 定住的な生活のはじまり 大型竪穴住居が出現する 巨大木柱列がつけられる	佐波縄文遺跡・三引遺跡 赤浦遺跡	■ 集落が営まれていた
300頃 B.C A.D	縄文	農耕文化が伝わる 金属器の使用 邪馬台国の成立	方形周溝墓・高地性集落の出現 低地で平地式住居がつけられる	細口源田山遺跡 杉谷チャノバタケ遺跡 万行遺跡	
250頃	古墳	大型古墳がつけられる 須恵器の生産がはじまる	玉造集落の形成 前方後円墳がつけられる 横穴式石室がつけられる	雨の宮古墳群 須曾蝦夷穴古墳	■
710	奈良	平城京へ遷都	能登国の設置(718) 大伴家持の能登巡行(748)	能登国分寺	
794	平安	平安京へ遷都	加賀国の設置(823) 加賀国・能登に国分寺が設置される 加賀郡助示札がたてられる(849) 山岳信仰が盛んとなる 中世窯業への陶器生産始まる	石動山遺跡	
1192	鎌倉	鎌倉幕府の成立	白山・石動山などの山岳信仰盛んとなる 摺町を中心として集落が発達する	七尾城跡	■
1338	室町	室町幕府の成立	山城が築かれる 加賀一向一揆がおこる		
1573 1603	安土桃山 江戸	室町幕府の滅亡 江戸幕府の成立	前田利家の金沢入城 山中町九谷で陶器を焼き始める		
1868	明治 大正 昭和 平成	明治維新 第二次世界大戦	石川県の誕生(1872)		■